

～ 会派の活動を報告します ～

政 友 会

12月27日、未来産業用地「東山田・谷貝地区」の進捗状況を視察しました。本事業に関して、政友会では早期から着目し、令和2年12月、茨城県営業戦略部立地整備課より2人を古河庁舎にお招きし、未来産業基盤強化プロジェクトについて研修を行っております。令和4年4月の全員協議会において発表された、未来産業用地「東山田・谷貝地区」20ヘクタールの土地については、地権者説明会および地権者協議会が立ち上がり、4企業と土地の売買が完了し、造成工事が着実に

進行しています。さらに北側に9.5ヘクタールが延長となりました。新たな雇用の創出を図り、若い世代の移住定住の促進を期待します。

同日、古河公方公園内にある「古河市教育支援センターはなももルームこが」を視察しました。古河市教育支援センターは、市内3カ所に設置され、いじめなどの悩みを持った生徒たちが自由に通える場所です。現在は小中学生合わせて34人が利用し、みんなで給食を食べたり、学習や運動を行っています。令和7年度に、政友会において予算要望しておりました、全中学校への相談員の配置が決定しております。引き続き政友

会は勉強会等により研さんを積み、そして市民の皆さまの要望を市政へ伝えてまいります。



「東山田・谷貝地区」の視察



「古河市教育支援センターはなももルームこが」の視察

古河市公明党

古河市公明党は令和6年12月23日、「令和7年度予算編成に関する政策要望書（予算要望書）」を、針谷市長へ提出しました。この「予算要望書」は、日頃の議員活動の中で、市民の皆さまから頂いたご意見やご要望をはじめ、会派内の各議員が行ってきた議会質問や調査・研究から培った政策提案を取りまとめたものです。令和7年度の予算編成に当たっては、「行財政改革・防災・減災・高齢者福祉・障がい者福祉・健康増進・子育て・環境・産業振興・教育など」各分野における重要施策

45項目について要望いたしました。具体的な政策として、①高齢化の進展を鑑み、公共施設の「バリアフリー化」を継続的に推進すること。②車道への「自転車通行レーン」の設置を推進すること。③「認知行動療法」の研究と普及を推進すること。④保育施設周辺での交通事故を防止するため、キッズゾーン・キッズガード等の整備を進めること。⑤生活困窮家庭等の児童生徒への「学習支援体制の構築」を図ること。⑥特別支援教育については、支援員を増強し、支援の充実を図ること。⑦離農者や就農希望者について、農業参画希望者が利用しやすい体制整備を推進すること。⑧豪

雨等の冠水地域については、引き続きさらなる整備の推進を図ること等。

古河市公明党は、生活者の視点から「支え合う街づくり」、「安心して暮らせる温かな街づくり」を目指し、適正な予算編成と執行により、当会派からの要望が市政に反映されるよう、これからも全力で取り組んでまいります。

